



脱炭素経営支援 サービスご案内

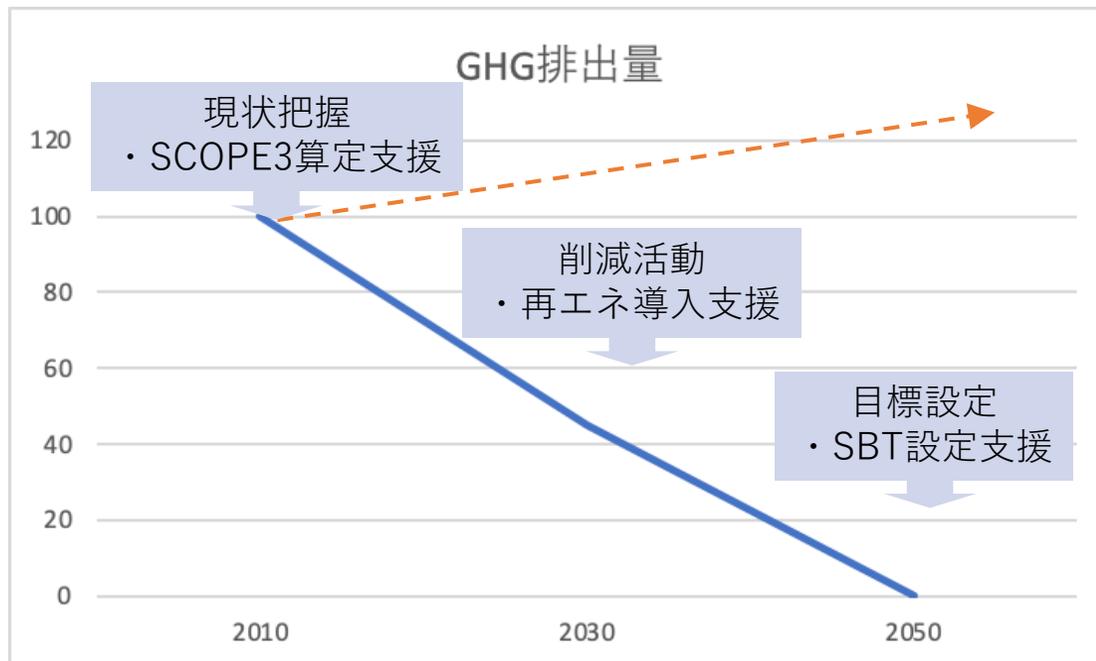
地球と共にワクワクする未来へ
～サステナビリティの価値創造パートナー～
Value Frontier株式会社

ESG評価
企業価値向上

気候変動ガバナンス
レジリエンス強化



グリーンバリューチェーン



金融機関
投資家



環境情報開示

- ・ CDP回答支援
- ・ TCFD支援

取引先
消費者



環境コミュニケーション

- ・ 環境ラベル
- ・ カーボン・オフセット



SCOPE3算定支援

- **SCOPE3とは**…企業が自社の排出量だけでなく、原材料調達から製造、輸送、販売、廃棄までの一連の排出量をサプライチェーン全体で把握する取り組みです。
- 環境省ガイドライン等をベースに、業種や企業様の目的や特徴に応じ、ポイントを押さえた算定を進めることで、作業効率を高めつつ、ESG経営への効果的な活用につなげることが可能です。また取引先等との連携による効果的なサプライチェーンGHG削減手法等の検討にも有効です。
- Value Frontierでは、サプライチェーンGHG排出量算定のノウハウを生かし、初めてSCOPE3を算定されるケースから、継続的な改善、検証を目指されるケースまで、お客様のご要望と課題に応じたサポートを提供しております。

【算定の基本的な流れ】



1) 算定目的、算定範囲等のヒアリング



2) データ収集内容の協議



3) 算定方法の検討



4) シナリオ設定、データ収集、算定



5) 算定結果の評価



6) 算定改善のアドバイス



Scope1: 事業者自らによる温室効果ガスの直接排出(燃料の燃焼、工業プロセス)
 Scope2: 他社から供給された電気、熱・蒸気の使用に伴う間接排出
 Scope3: Scope1、Scope2以外の間接排出(事業者の活動に関連する他社の排出)



SBT設定支援

- **SBTとは… Science-based targets、科学に基づく目標。** パリ協定で合意された、2°Cを十分に下回る水準（Well Below 2°C：WB2°C）、または1.5°Cに抑えることを目指す水準と整合した、GHG排出削減目標を、企業が設定し認定を受ける取組です。
- SBT水準に沿って、自社基準年より5～15年の範囲で目標年を設定し、WB2°Cまたは1.5°C水準に必要なGHG排出量経路を算出し、自社のSBTを設定します。
- Value Frontierでは、企業の地球温暖化対策支援や、サプライチェーンと親和性の高いライフサイクルアセスメント（LCA）の経験を活かし、産業特性や自社の成長性等を踏まえたSBT設定を支援します。

【SBT設定の基本的な流れ】



1) 設定目的、Scope1,2,3等のヒアリング



2) GHG削減経路の算出、目標年の設定



3) GHG削減経路の算出、目標年の設定



4) 目標案検討の社内ディスカッション



5) SBT事務局へ目標提出

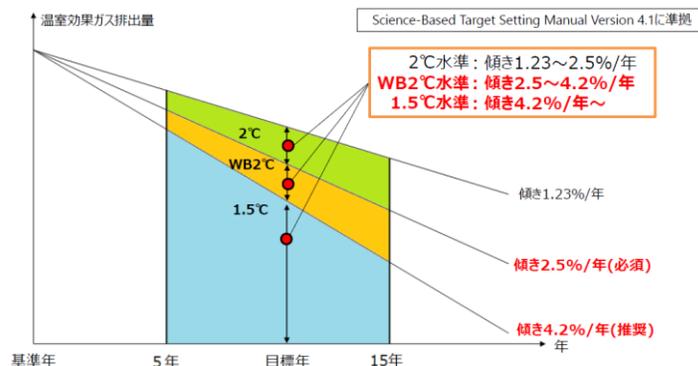


6) 定期的な進捗開示、目標妥当性の検証



SCIENCE
BASED
TARGETS

DRIVING AMBITIOUS CORPORATE CLIMATE ACTION





再エネ導入 (RE100)支援

- **RE100とは…**100%再生可能エネルギーの電力で事業運営することを目標に掲げる企業が加盟するイニシアティブで、「Renewable Energy 100%」の頭文字をとって「RE100」と命名されています。
- 再エネ（電力・熱）を利用することで、自社のGHG排出量を削減することができます。また「RE100」企業がサプライヤーに再エネ電力利用を求める動きもあります。自社設備を保有することで、非常用電源・熱源として使用することもできます。
- Value Frontierでは、中立な立場での再エネ（電力・熱）導入支援、RE100で認められている、信頼性の高い環境価値証書（グリーン電力証書、Jクレジットなど）の調達支援を行います。

2050年までに再エネ100%



【支援の基本的な流れ】



1) 再エネ導入達成目標の設定



2) 再エネ導入の選択肢の検討



3) 選定（自家発電、購入電力、熱設備等）



4) 再エネ導入支援、環境価値証書調達



5) 目標提出フォーム（英）提出（RE100宣言の場合）



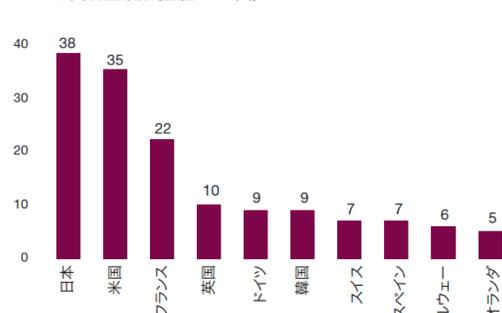
6) 年次報告書作成支援（RE100宣言の場合）



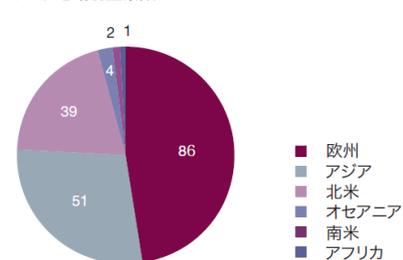
CDP回答支援

- CDPとは…**英国のNPOが運営する環境情報開示システムです。現在世界の515を超える投資家（資産運用学106兆ドル）に対し、8,400を超える企業の環境情報を開示しています。
- CDPは企業に環境情報の質問書を送付し、回答をスコアリングして、持続可能性の視点で企業の格付けや分析を行います。主要な株式情報提供サービスや投資家等は、CDPを投資判断に利用していることから、CDP回答の充実は、ESG投資家とのコミュニケーション強化に繋がります。
- Value Frontierは、15年以上にわたり、企業の環境経営支援を行ってきた経験を生かし、CDP格付けの改善のみならず、企業価値向上を目指した脱炭素経営強化と、具体的なGHG削減ソリューションをご支援いたします。

Aリスト国別企業数(上位10カ国)



Aリスト地域別企業数



(CDPジャパン「CDP気候変動レポート2019：日本版」より)

【CDP回答支援の基本的な流れ】



1) 事業内容、回答の目的のヒアリング



2) 回答内容の分析（スコアリング、他社比較等）



3) 回答書の記入支援（英語対応可能）



4) 強化項目の検討（SCOPE 3、SBT、TCFD、カーボンプライシング等）



5) CDP事務局への回答送付



6) 回答内容の改善活動



TCFD支援

- **TCFDとは…**企業の気候変動リスク・機会に関する情報開示フレームワーク。金融機関の保有資産に対する気候変動影響を評価するために、2015年に金融安定化理事会が「気候関連財務情報開示タスクフォース」を設立し、2017年に「TCFD提言」を公表。現在1,350以上の機関が賛同（2020年7月時点）。
- 企業には「TCFD提言」に沿って、以下の4項目の情報開示が求められます。①気候関連のリスク・機会が、短期・中期・長期にわたり企業の戦略や財務に与える影響(戦略)、②リスクの評価・管理プロセス（リスク管理）、③GHG排出量に基づく目標と指標が（目標と指標）、④企業のガバナンスにどのように組み込まれているかを示し（ガバナンス）、気候変動へのレジリエンスを示すことが求められます。
- Value Frontierは、IEAやIPCCなどの主要な気候変動シナリオ研究に精通しており、国際的な最新動向や業界研究を踏まえた、気候変動リスク・機会のシナリオ分析支援と、金融機関やESG投資家が求める情報開示支援を通じて、気候変動ガバナンスの強化とESG経営をご支援いたします。

【TCFD支援の基本的な流れ】



1) ガバナンス整備支援



2) リスク重要度評価



3) シナリオ群定義



4) 事業インパクト評価



5) 対応策の定義



6) 文書化・情報開示支援



環境ラベル支援

- **エコリーフ環境ラベルとは…**製品・サービスの原材料調達から廃棄・リサイクルに至るまでのライフサイクル全体における環境負荷の定量的開示を行います。複数の環境側面を対象としたタイプIII環境宣言 (EPD) を行うエコリーフと、地球温暖化負荷のみを対象するカーボンフットプリント (CFP) の2種類があります。
- CDPの気候変動に関する質問書への回答や、グリーン購入・調達の信頼感向上に役立ちます。また消費者評価の向上により、市場競争力を強化や、組織内意識の向上になります。
- Value Frontierでは、エコリーフ・CFPの登録レビューアーを10年間以上務めてきております。ノウハウを生かし、お客様のご要望と課題に応じたサポートを提供しております。

【環境ラベル支援の基本的な流れ】

🎯 1) 製品内容、算定目的、算定範囲等ヒアリング

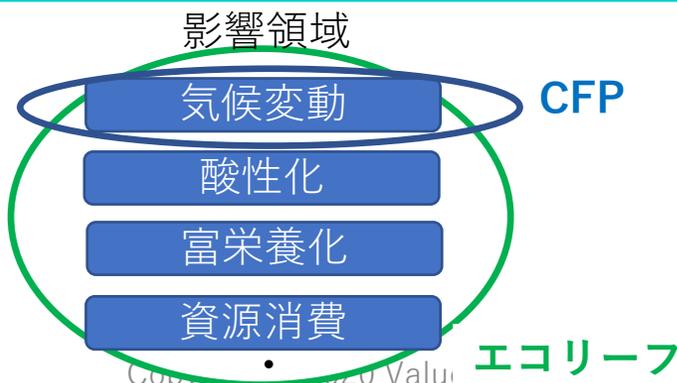
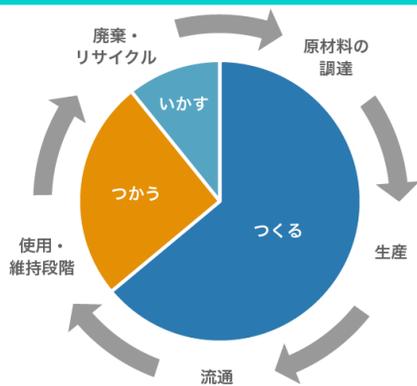
✓ 2) PCRの策定 (未策定の場合)

🔍 3) 算定方法の解説

📏 4) 算定の支援

📊 5) エコリーフ・CFP検証対応

📈 6) 環境ラベル表示、コミュニケーション支援





カーボン・オフセット支援

- **カーボン・オフセットとは…**日常生活や経済活動によるGHG排出量に見合ったGHG削減・吸収活動への投資等により、「ネットゼロ」にする取組です。
- 基本の3ステップは「はかる」「へらす」「オフセット」。対象となる製品・サービスのGHG排出量を見える化し、自らのGHG削減努力（あるいは目標設定）をした上で、すぐに減らすことが難しい排出分をオフセットすることで、環境に配慮した選択や調達を考える消費者や取引先へ「ネットゼロ」商品・サービスの提供が可能になります。
- Value Frontierでは、15年以上のオフセット支援経験を生かし、GHG排出量の算定、オフセットのためのクレジット調達（グリーン電力証書、Jクレジット、海外のVERクレジット等）、効果的な環境コミュニケーションのアドバイス等、お客様のニーズに合わせた支援を実施いたします。

【カーボンオフセット支援の基本的な流れ】



1) オフセットの取組の目的確認



2) 対象活動量・排出係数データ把握



3) オフセット対象のGHG排出量算定



4) GHG削減取組の検討・実施



5) クレジット調達・無効化



6) 環境コミュニケーション支援



代表取締役/Chief Sustainability Officer 梅原由美子

製造業、流通、サービス業等の幅広い業種に対し、サプライチェーンGHG排出量算定、製品・サービスのLCA、再生可能エネルギー導入、クレジットを活用したカーボンオフセットなどのGHG削減支援を実施。20年以上にわたる気候変動、環境経営分野の知識と国内外の多彩な専門ネットワークを活かし、企業価値向上を目指した環境戦略コンサルティングを行っている。

【略歴】慶応義塾大学大学院政策・メディア研究科修士。大学院では国際研究チームにて、IEAエネルギー需給予測に基づく、エネルギー・経済・環境モデル開発、炭素価格の産業への影響を研究。卒業後、日本アイ・ビー・エム(株)、NPO法人環境エネルギー政策研究所を経て、2006年にValue Frontier (株)を設立。2015年に里山エナジー (株)を設立し(本社：南阿蘇村、取締役)、地域エネルギー事業化に取り組む。LEAD(本部：ロンドン)第6期生として、世界各国の環境エキスパートとのネットワークを持つ。千代田区地球温暖化配慮行動計画制度(表彰委員)、千代田エコシステム認証委員(委員長)、環境大臣懇談会メンバー。一般社団法人サステナブル経営推進機構エコリーフプログラム「登録レビューアー」。

【主な著書】”Economy Energy Environment-Beyond the Kyoto Protocol”(2002). Kluwer Academic Publishing. (共著)、月刊「環境ビジネス」「純国産！再生可能エネルギーの『底力』」連載(2011～12年)、Energy Shift “ビジネスパーソンのためのSDGs” 2020年3月～連載中、他。

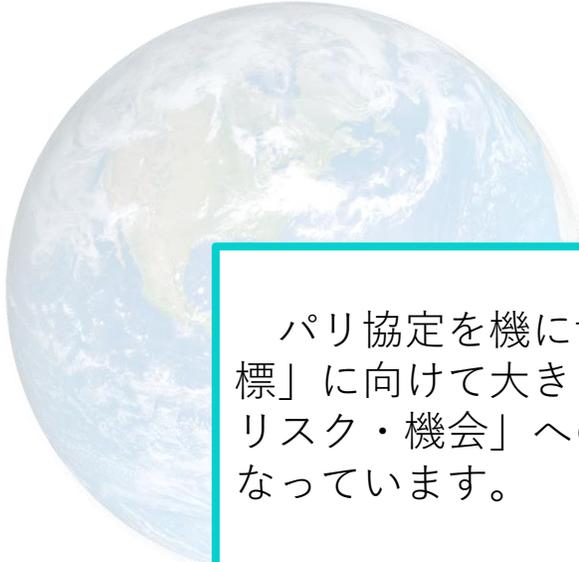


コンサルタント/Consultant 中村洋之

製造会社・業界団体において、気候変動を中心に、環境影響の評価・削減、環境保全に関する業務を、サプライチェーンやライフサイクルの視点で実施するとともに、業界のカーボンフットプリント(CFP)のISO国際規格をコンビナー・プロジェクトリーダーとして発行。Scope3、LCA及びCFPの算定や認定の支援、さらにこれらの定量化に基づくSBT等のESG投資やSDGsに係るコンサルティングを行っている。

【略歴】東京工業大学総合理工学研究科化学環境工学専攻修士。大学院では、資源化学研究所にて、工場の化学物質のクローズドプロセスを研究。卒業後、大日本印刷(株)、(一社)日本印刷産業連合会出向、(一社)産業環境管理協会出向を経て、現在、Value Frontier (株)のコンサルタント。2017年にHerb国際技術士事務所を設立し、研究や国際規格開発等を実施している。(公社)日本技術士会 環境部会長、東京都市大学環境学部 特別研究員、一般社団法人サステナブル経営推進機構エコリーフプログラム「登録レビューアー」。

【学会投稿・発表等】「Life-cycle greenhouse gas emissions of e-books vs. paper books: a Japanese case study」(Journal of Cleaner Production, March 2018) 共著、「印刷物の環境影響評価」(LIME3活用検討研究会、LCA日本フォーラム、2019年6月)、Initiatives for Environmental Issues at the Institution of Professional Engineers, Japan — Achieving the SDGs (2nd IPEJ-IMEchE Joint Seminar, December 2019)、 「SDGsの達成を評価する指標」(月刊技術士、2020年10月)、他。



パリ協定を機に世界的な脱炭素の潮流が、「1.5°C目標」に向けて大きく動き始める中、企業には「気候変動リスク・機会」への備えがますます求められるようになっていきます。

Value Frontierは、15年にわたり多様な業種・企業様のサプライチェーンGHG排出量の見える化、削減活動、環境コミュニケーションをご支援して参りました。

その経験と国内外の専門機関とのネットワークを活かし、クライアント企業様の気候変動ガバナンスとレジリエンス強化を通じた、ESG評価と企業価値向上を目指し、脱炭素経営をご支援をしております。

お問い合わせ
info@valuefrontier.co.jp



VALUE FRONTIER

Value Frontier 株式会社

【事業内容】

- 国際協力コンサルティング
(ODA事後評価、中小企業海外展開)
- 環境経営コンサルティング
(環境情報開示、グリーンバリューチェーン、環境ラベル・コミュニケーション)
- サステナビリティ人材育成
(社員研修、経営者研修等)

所在地：〒150-0012 東京都渋谷区広尾
1-8-6 広尾186ビル4階

TEL：03-5422-9462

FAX：03-5422-9463

URL：<https://www.valuefrontier.co.jp/>